

ELSI(倫理的・法的・社会的課題)に取り組む URAの在り方

「倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues (ELSI))」をテーマとし、今後のURAの在り方に関してレクチャー及びワークショップを通じて議論・共有を行います。

2023年 ハイブリッド開催 (1日目のみ)

3月16日(木)・17日(金)

於 広島大学 東広島キャンパス

プログラム

2023年3月16日(木) 1日目

- 12:20- 開場・受付
- 13:00-13:10 開会挨拶
三代川 典史
(広島大学 未来共創科学研究本部 研究戦略推進部門長)
- 13:10-13:50 基調講演
「ELSIの取組を求めるファンディングエージェンシーから、URAに期待される役割と展望について」
小林 傳司 (科学技術振興機構 社会技術研究開発センター長)
- 13:50-14:20 講演
「ELSI/RRRIに関する政策動向と求められる大学・研究機関の機能強化」
小山田 和仁
(科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー)
- 14:20-14:30 休憩
- 14:30-15:00 講演
「広島大学におけるELSI/RRRIの実践とURAの役割」
澤井 努 (広島大学 人間社会科学研究所 准教授)
- 15:00-15:30 講演
「ELSIの産業的実践：ゲノム編集とバイオDX」
奥原 啓輔
(広島大学 ゲノム編集イノベーションセンター 客員教授)
- 15:30-15:40 休憩
- 15:40-16:10 講演
「多様性を包摂するRRRI実践のために——FemTechのELSI検討プロジェクト事例から」
標葉 靖子 (実践女子大学 人間社会学科 准教授)
- 16:10-16:40 講演
「ELSIに関する研究や実践に伴走する：大阪大学ELSIセンターでの事例」
水町 衣里
(大阪大学 社会技術共創研究センター 准教授/URA)
- 16:40-17:00 人系外部資金情報のご案内 (文部科学省：対応検討中)
- 17:30- 情報交換会 (学生会館 1F レストラン「ラ・ポエム」)

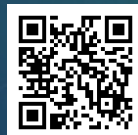
2023年3月17日(金) 2日目

- 8:30- 開場・受付
- 9:00-12:00 ワークショップ「ELSIへの取組における課題とその対応」
ファシリテーター 白井 哲哉
(京都大学 学術研究展開センター 融合研究創成部門 副部門長)
- 12:00-12:30 総括
小林 信一 (広島大学 人間社会科学研究所科長)
- 12:30-12:35 閉会挨拶
塩満 典子 (広島大学 未来共創科学研究本部 副本部長)

参加申込

申込方法：下記QRコードまたはURLから事前申込

申込締切：2023年3月15日(水) 12:00



<https://forms.office.com/r/gEaH1hVDad>

参加費：無料
(情報交換会は別途参加費5,000円)

定員：現地参加 60名 (先着順)
オンライン参加 制限なし

対象：研究者、URA等大学・研究機関職員、
省庁・助成団体関係者、民間企業等

お問い合わせ

広島大学 未来共創科学研究本部
研究戦略推進部門

Mail：ura@office.hiroshima-u.ac.jp

Tel.：082-424-4397

URL：https://www.hiroshima-u.ac.jp/ru/jinsha_forum/

会場へのアクセス

広島大学 東広島キャンパス
学生会館 2階 レセプションホール



〒739-0046
広島県東広島市鏡山1丁目2-2

JR山陽本線「西条駅」または
山陽新幹線「東広島駅」から
JRバス中国・芸陽バス乗り換え
「広大中央口」バス停下車
徒歩約5分

※情報交換会会場：会場併設
学生会館 1階
レストラン「ラ・ポエム」

講演内容紹介

① 詳細はウェブページをご参照ください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/ru/jinsha_forum/

基調講演



小林 傳司
 科学技術振興機構
 社会技術研究開発センター長

「ELSIの取組を求めるファンディングエージェンシーから、URAに期待される役割と展望について」

ELSI研究は1990年に開始されたヒトゲノム計画の際、その研究が社会にもたらす様々な倫理的、法的、倫理的課題を研究するために総予算の3%から5%を人文社会科学系の研究に割いたことに端を発する。以後、生命科学にとどまらず、様々な科学技術研究に対してこのような取り組みが行われてきた。欧州ではその後、RRIという考え方へと発展した。日本ではELSIに関して生命科学の一部で取り組まれただけであった。しかし近年、政策関係者がムーンショットプログラムのような新興科学技術の研究におけるELSIの重要性に言及し始めている。講演では、ELSIの歴史の概略と基本的な考え方について説明し、現在、なぜこの考え方が重要になっているのかについて論じてみたい。

講演



小山田 和仁
 科学技術振興機構
 研究開発戦略センターフェロー

「ELSI/RRI推進に関する国内外の動向と大学・研究機関の機能強化の必要性」

本発表では、ELSI及び責任ある研究・イノベーション(RRI)が、我が国を含む各国で政策的に推進される背景及びその動向について紹介する。さらに我が国の政策動向及び具体的研究開発事業における取組みを概観する。これらのELSI/RRIの取組みを具体的に推進する上では、大学・研究機関自体の機能強化が必要である。そこではURAが重要な役割を担うと想定されるので、これらについて議論したい。



澤井 努
 広島大学
 人間社会科学部 准教授

「広島大学におけるELSI/RRIの実践とURAの役割」

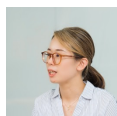
本発表では、今後、広島大学において研究者とURAがいかにELSI/RRIの文脈で協働しうるのかを示す。具体的には、①発表者がこれまで生命科学分野において過去に取り組んできた、また現在取り組んでいるELSI/RRIについて概観するとともに、②広島大学においてこれまでどのようなELSI/RRIの研究・実践が行われてきたのか、また現在行われているのかを概観する。そのうえで、今後、広島大学において求められるELSI/RRIの研究・実践、ならびにそうした研究・実践におけるURAの役割を説く。



奥原 啓輔
 広島大学
 ゲノム編集イノベーションセンター
 客員教授

「ELSIの産業的実践:ゲノム編集とバイオDX」

広島大学では、JST産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)やJST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)を通じて、「ゲノム編集」や「バイオDX」の産業利用・社会実装を推進している。その際に必要となるELSI(視点ビジョン)の策定、知財戦略の策定、ゲノム編集に対する規制への対応、新興技術とガバナンスの整理、社会コミュニケーション、社会受容の促進など)について、産業的実践の現場の取組みを紹介する。



標葉 靖子
 実践女子大学
 人間社会学科 准教授

「多様性を包摂するRRI実践のために——FemTechのELSI検討プロジェクト事例から」

本発表では、多様性を包摂するRRI実践のための取り組みの一つとして、FemTechのELSI検討プロジェクトの事例を紹介する。テクノロジー・市場の進展と価値観や社会システムの変容のスピードに大きなギャップが予想されるFemTechでの検討事例のもとに、ジェンダー・多様性を包摂する RRI プロセスで陥りやすい隘路やその克服のために求められること(プロジェクト体制含む)などについて議論したい。



水町 衣里
 大阪大学
 社会技術共創研究センター
 准教授 /URA

「ELSIに関する研究や実践に伴走する：大阪大学ELSIセンターでの事例」

2020年4月に発足した大阪大学社会技術共創研究センター(通称、ELSIセンター)は、新規科学技術のELSIに関する総合的かつ学際的な研究・実践を行っており、学内外の研究者や組織と連携しながら、社会技術を多様なステークホルダーと共創する多様な研究プロジェクトが進められている。研究者・技術者と人文社会系研究者との共同研究がどのように行われているのか、ELSIセンターで行われている実践的な研究の「裏側」を紹介する。

ワークショップ



白井 哲哉
 京都大学 学術研究開発センター
 融合研究創成部門 副部門長

「ELSIへの取組における課題とその対応」

このワークショップでは、1日目に深めたELSIについての理解をもとに、参加者全員で「ELSIへの対応に向けて何をすれば良いのか」を議論します。URAの立場でできることの議論を中心に、政府や研究者とどのように連携するべきかを検討します。このワークショップを終え、各参加者が自分の組織に戻った後、具体的なELSIへの取り組みに向けて一歩踏み出せるようになることを目指します。

人文・社会科学系研究推進フォーラム

人社系研究にかかわる研究者やURA、事務系職員等が、よりよい研究推進のあり方をともに議論し、ともに行動することを目指して、2014年に発足しました。フォーラムの企画・運営は、開催校を中心に、各大学の人社系担当URAの有志グループによって行われています。

主催

広島大学
 未来共創科学研究本部
 研究戦略推進部門

共催